

地球を旅する

大学4年間という時間は、自分の興味・関心のあることに時間を充てる貴重な時間でもあります。

先行きが不透明な中、一歩踏み出して体験することや直接肌で感じるとは、今後において大きな経験になると思います。

この講演会を通して、これからの大学生活で一歩踏み出すことの大切さを改めて考えてみてはいかがでしょうか。

講演者

石川 直樹

(いしかわ なおき)

【講演者プロフィール】

1977年生まれ。写真家。

2000年、poletopleプロジェクトに参加し、北極から南極を人力踏破、2001年、七大陸最高峰登頂達成。人類学、民俗学をテーマにした作品を発表し続けている。2006年、「THE VOID」(ニーハイメディア)により、さがみはら写真新人奨励賞、三木淳賞受賞。2008年、「NEW DIMENSION」(赤々舎)、「POLAR」(リトルモア)により、日本写真協会新人、講談社出版文化賞を受賞。その他受賞作品多数。著書に「最後の冒険家」(集英社)、「いま生きているという冒険」(理論社)、「全ての装備を知恵に置き換えること」(晶文社)。

東京芸術大学院美術研究科博士後期課程修了。
多摩美術大学芸術人類学研究所特別研究員。

日時 2012年10月24日(水)

13:00 から 14:30 まで

場所 甲友会館大ホール

問い合わせ 5号館5階経済学会コモンルーム